

平成 21 年度の加入実績は 4,113 億円に！

～ 「ステップ・アップぎょさい」運動初年度は史上最高の実績確保！ ～

「ステップ・アップぎょさい」運動初年度にあたる平成 21 年度の「ぎょさい」の加入実績は、共済金額で前年度を 29 億円上回る 4,113 億円（前年対比 101%）となり、ぎょさい史上最高の実績を更新しました。自然災害の増加や漁業者数の減少、引き続き不景気という厳しい漁業経営環境の中での実績を達成できましたことは、漁業者の皆様の「ぎょさい」へのご理解と関係各位のご協力を頂いた賜物と、厚く御礼申し上げます。

平成 21 年度は 4 月よりスタートした新しい掛金助成「漁業共済経営環境変化特別対策事業」の活用や 10 月に施行されました「漁業災害補償法」の改正と、より漁業者の皆様が「ぎょさい」へ加入しやすくなる取り組みがなされてまいりました。さらに「漁業経営安定対策事業（積立ぷらす）」との連携により、深い減収は「ぎょさい」、浅い減収は「積立ぷらす」で補填することにより、漁業経営の安定に少しでも寄与できたのではないかと考えています。

次に支払実績は、前年度を 65 億円上回る 156 億円（前年度対比 172%）となりました。これは近年引き続き不漁・魚価安に加えて、昨年は大量の大型クラゲが日本沿岸へ来遊したことにより、底曳網や定置網漁業などに大きな被害が出たことがあげられます。また魚類養殖業では昨夏に八代海を中心に発生した大規模な赤潮によってはまち・かんぱち養殖業に大きな被害が発生した他、特定養殖共済ではのり養殖業での平成 20 年度漁期の有明海域での品質低下による支払等により、前年度実績を大きく上回ることとなりました。

一方、平成 21 年度中の支払の実績には含まれませんが、この 2 月末にはチリ地震に伴う津波による養殖施設への被害が三陸沿岸を中心に発生しました。この津波被害による養殖施設の支払共済金は、岩手県で 1.5 億円、宮城県で約 2.4 億円の見込みとなっております。被災された漁業者の方々の来漁期に向けた復旧に貢献できるよう、共済金の速やかな支払に向けて事務処理を行っており、この 4 月から送金を行ってまいります。

こうした天災に対する備えとして「ぎょさい」をなお一層活用して頂きたいと漁業者の更なるご理解を賜るとともに、加入促進等について関係各位の更なるご支援・ご協力をお願いいたします。

平成 21 年度の引受支払実績

（金額単位：百万円）

	共済金額				支払共済金			
	H.21 年度	H.20 年度	対比	増減	H.21 年度	H.20 年度	対比	増減
漁獲共済	228,795	222,149	103%	6,646	9,963	4,687	213%	5,276
養殖共済	83,106	89,342	93%	△ 6,236	1,976	1,704	116%	272
特定養殖共済	81,207	76,575	106%	4,631	3,175	2,347	135%	828
漁業施設共済	10,228	10,311	99%	△ 83	325	252	129%	73
地域共済	7,988	9,995	80%	△ 2,007	182	88	206%	94
合計	411,324	408,373	101%	2,951	15,621	9,078	172%	6,542